



令和3年度 SIP第2期 臨時課題評価結果

(案)

令和3年6月24日

ガバニングボード決定

令和3年2月25日のガバニングボードにおいて「A」評価より低い評価を受けた、以下の課題について、今般、ガバニングボードの決定に基づき「S I P第2期課題評価ワーキンググループ」（座長：須藤亮 内閣府政策参与・S I Pプログラム統括）において再評価を実施した。

【再評価対象の課題名】

「IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」（後藤PD）

再評価の目的は、上記課題について、本年2月の評価における指摘事項を踏まえて、研究開発内容や体制等が適切に見直され、その結果、前回と同様の評価項目で再評価した結果、「A」評価以上に達しているか否かを確認するものである。

なお、上記課題に対して配分予定の本年度予算のうち、現在、配分を留保している予算については、今回の再評価において「A」評価以上に達していることをもって配分することとする。

ガバニングボードは、「S I P第2期課題評価ワーキンググループ」の再評価結果を基に、上記課題の再評価結果を以下のとおり決定する。

再評価結果

課題名	IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ
PD名 (※敬称略)	後藤 厚宏 プログラムディレクター

I. 総合評価結果

令和2年度課題評価では、Society5.0 社会においてすべての領域に関係する分野であり概ね技術開発の進捗は良好との評価とともに、社会実装のための体制構築が検討されているものの、ユーザーの巻き込み、社会実装の体制構築が急務と指摘されていた。

こうした指摘に対して、再評価では、社会実装に向けた体制構築をサブテーマごとに調整し、全体的にも個別的にも体制と方針の強化が進められ、実現可能性が向上しているとの評価がなされた。その一方で、テーマを自治体に絞り込んだ難しさも指摘されており、今後は、こうした課題への対応を進めていくことを期待する。

総合評価

A

II. 主な指摘事項

- 社会実装に向けた体制構築をサブテーマごとに各々の特性に合わせて調整されている点は達成見込みを高めるうえで評価できる。
- 社会実装の具体的なターゲットが明確に説明されていた。それに対して企業の社会実装責任者がアサインされた。またターゲット間の横連携の社会実装WGも設置され、きわめて大きな進展があった。
- 【B2】のテーマについては自治体に絞り込んだことで、社会実装への難しさもある。自治体と事業者間の信頼チェーンの構築に向けて何が課題であるか、制度設計の見直し含めて、そのプロセスからも有益なフィードバックを期待したい。

(以上)

表 1 : 第 2 期課題評価のランク付け

評価	標語
S	極めて挑戦的な高度な目標を達成し、 <u>実用化・事業化も十分見込まれており、想定を大幅に上回る成果が得られている。</u>
AA	<u>適切に設定された目標を大幅に達成しており、実用化・事業化も十分見込まれており、想定以上の成果が得られている。</u>
A+	<u>適切に設定された目標を達成しており、実用化・事業化も十分見込まれるなど、想定以上の成果が得られている。</u>
A	目標の設定・達成ともに概ね適切であるなど、 <u>当初予定どおりの成果が得られている。</u>
A-	目標の設定又はその達成状況が十分ではないなど、 <u>予定を下回る成果となっている。</u>
B+	目標の設定又はその達成状況が極めて不十分で、 <u>予定を大幅に下回る成果となっている。</u>
B	目標の設定、その達成状況その他 <u>大きな改善を要する面がみられる。</u>

表 2 : 評価と得点の関係

評価	令和 2 年度課題評価 における得点
S	299～315点
AA	268～299点
A+	236.5～268点
A	173.5～236.5点
A-	142～173.5点
B+	110～142点
B	～110点

(注) 表 2 は令和 2 年 2 月 25 日ガバニングボードの評価結果に基づく。

S I P 第 2 期 課 題 評 価 W G 委 員 名 簿

◎座長

須藤 亮 内閣府政策参与・S I P プログラム統括

○委員

小豆畑 茂 元 株式会社日立製作所 フェロー

五十嵐 仁一 ENEOS 総研株式会社 代表取締役社長

江崎 浩 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授

岡崎 健 東京工業大学 エネルギー・情報卓越教育院 特命教授

小栗 久典 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 パートナー弁護士

君嶋 祐子 慶應義塾大学 法学部・大学院法学研究科 教授

小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所 理事長

小向 太郎 中央大学 国際情報学部 教授

白井 俊明 元 横河電機株式会社 フェロー

竹中 章二 池上通信機株式会社 技術顧問

林 いづみ 桜坂法律事務所 弁護士

藤野 陽三 城西大学 学長

吉本 陽子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 経済政策部
主席研究員

(敬称略、五十音順)

臨時課題評価WGの審議実績

■令和3年5月10日 第1回会合

「IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」（後藤PD）